

第 55 回北海道ヘリカル CT 研究会参加報告

札幌医科大学附属病院 小野 志穂

皆様、初めまして。札幌医科大学附属病院の小野と申します。

1月28日(土)に札幌市にあるホテルライフオーツ札幌にて開催されました第55回北海道ヘリカル CT 研究会に参加させていただきましたので、ご報告させていただきます。

今回で55回目となる北海道ヘリカル CT 研究会も、近年の新型コロナウイルスの影響を受けweb開催が余儀なくされ、前回よりHybrid開催となっていましたが、多くの参加者がwebにて参加している状況でした。しかし、今回は会場に83名、webで206名の参加者となり、以前の盛り上がりが戻ってきたように感じました。

今回から新しい試みとして「HOKKAIDO ヘリ-1 グランプリ 2023」と題し一般演題発表が行われました。応募資格はただそれがCTであること。発表時間5分、質疑応答なし、30秒超過ごとに5点の減点、当日発表者以外の参加者全員と世話人からの投票を行い、合計点数の高い上位3演題を表彰するというルールとなっていました。多岐にわたる分野から19演題の登録があり、症例報告や撮影における工夫点といった日常業務に生かせるテクニックや撮影法の紹介など、とても興味深く拝聴させていただきました。私も「至適タイミングでもぎ取った勝利!?!~動脈2相撮影による気管支動脈瘤と肺

動脈瘤の鑑別～」というタイトルで症例報告をさせていただき、ありがたい事に最優秀賞をいただくことができました。

また、特別講演では画像再構成について基礎から最新技術まで詳細にご講演いただきました。FBP、Hybrid IR、MBIR、DLR のそれぞれの再構成原理や物理特性を改めて学ぶことができました。また、PIQE についても基礎実験の結果を用いながら解説していただき、全体を通して学ぶことの多い研究会であったと感じます。

最後に私自身久しぶりに会場参加の研究会でしたが、やっぱり会場参加は良いなと感じました。会場の空気感を肌で感じ、発表者や質問者の表情が見える中でディスカッションが行われるのは web にはない面白さだなと改めて実感しました。次回以降も会場に多くの参加者が集まると良いなと思います。



発表中の様子と表彰式にて山口代表と記念写真